

第29回医学情報サービス研究大会プログラム

第1日 2012年8月25日(土)

12:00-12:45 受付

12:45-13:00 大会ガイダンス・開会式

13:00-14:00 基調講演

「学ぶこと」と「学び方」－医学・医療における人材育成に関わって－

講師：福井次矢（聖路加国際病院常務理事・院長，聖路加看護学園理事長，
京都大学名誉教授）

14:20-15:30 ワールド・カフェ@MIS29

※基調講演終了とともにオリエンテーション。その後4会場で開催

15:45-17:00 一般演題

※3会場に分かれて並行開催

【第1会場：情報の分析と活用】

O-01 ACP Journal Club に掲載される記事と掲載誌の引用特性

西村飛俊（愛知淑徳大学大学院文学研究科文学専攻図書館情報学コース）

O-02 「看護分野における外国人労働者の受け入れ」に関する新聞記事の計量的分析

岡田梨菜（龍ヶ崎済生会病院），富田美加（茨城県立医療大学）

O-03 「看護学における学際性」に関する学術文献の分析

伊志嶺美香（洛和会音羽病院），富田美加（茨城県立医療大学）

O-04 医学系リポジトリにおける英語論文の登録候補リスト作成の経験

浅沼愛九（東京女子医科大学図書館）

O-05 同一主題内引用の評価－他主題からの引用の影響度分析－

児玉関（東邦大学医学メディアセンター）

【第2会場：病院利用者と情報をつなぐ】

O-06 無手続利用現象からみた図書館による情報支援についての考察

－静岡がんセンター医学図書館の場合

山崎むつみ（静岡県立静岡がんセンター医学図書館），岩澤まり子（筑波大学図書館情報メディア系）

O-07 長崎市立図書館「がん情報サービス」に関する考察

－行政・医療機関と連携したサービスの有効性を探る－

佐藤美加（長崎市立図書館）

O-08 小規模図書館に見る医療・健康情報サービスの実践例

柚木聖，加納邦子，小林順子，佐藤晋巨，杉森弘子，鷹野祐子，高橋宏美，蓮見博，
舟田彰（日本図書館協会健康情報委員会）

O-09 乳がん闘病記の内容分析（中間報告）

石川道子，石井保志，磯野威，後藤久夫，詫間浩樹，和田恵美子（健康情報棚プロジェクト），
大野直子（東京大学大学院医学系研究科），中山健夫（京都大学大学院医学研究科）

【第3会場：歴史に学び、歴史を作る】

- O-10 「江戸東京医史学散歩」と Google マイマップ
堀江幸司 (シソーラス研究会)
※ 発表者の都合により、当日演者は阿部信一 (シソーラス研究会) へ変更となります。
- O-11 医学シソーラス MeSH 生起頻度データ(1960-2011)による研究動向の把握
野添篤毅 (愛知淑徳大学名誉教授), 西村飛俊 (愛知淑徳大学大学院)
- O-12 医学図書館機能の変容
青木仕 (順天堂大学図書館)
- O-13 保健医療図書館ネットワークの組織化と展望 私案
今田敬子 (国際医療福祉大学情報教育センター: 図書館)

17:10-18:15 プロダクトレビュー

19:00-21:00 懇親会

第2日 2012年8月26日(日)

08:30-09:00 受付 (2日目から参加する方のみ)

09:00-15:00 企画 ※企画ごとに複数の会場に分かれて並行開催

- A. 講演「Google がめざす書籍・学術情報の活用について」
講師：佐藤陽一 (グーグル株式会社 プロダクトパートナーシップ本部 出版コンテンツ アジア太平洋 統括部長)
- B. ビブリオバトル in MIS 29
話題提供者：未定
企画者：大谷裕 (東邦大学医学メディアセンター), 鷹野祐子 (東京都医学総合研究所図書室)
- C. コミュニケーション再考：相手の知りたいことを聞きだし、私の持っている知識・技術を伝えたい!!
話題提供者：大島武 (東京工芸大学芸術学部准教授)
企画者：日本看護図書館協会利用教育研究グループ (世話人 西村志保)
- D. EBM/EBN(Evidence Based Nursing)ワークショップ：研究論文を読んで批判的に吟味する方法を習得しよう
話題提供者：八重ゆかり (聖路加看護大学), 大津洋 (東京大学) 他
- E. DRF (デジタルリポジトリ連合) 主題ワークショップ DRFmed-MIS 29
～リポジトリで発信する医療情報・病院図書館との連携～ 第1部
話題提供者：機関リポジトリを導入した大学や病院の図書館員や、実際に文献を扱っている各図書館 ILL 担当者など
企画者：DRF (デジタルリポジトリ連合) 企画, 集会 WG (連絡担当：和田崇)
- F. 講演「学びの見方」
講師：長岡健 (法政大学経営学部教授)
- G. DRF (デジタルリポジトリ連合) 主題ワークショップ DRFmed-MIS 29
～リポジトリで発信する医療情報・病院図書館との連携～ 第2部
話題提供者：機関リポジトリを導入した大学や病院の図書館員や、実際に文献を扱っている各図書館 ILL 担当者など

企画者：DRF（デジタルリポジトリ連合）企画，集会WG（連絡担当：和田崇）

H. 日本版メディアドクター in 医学情報サービス大会

話題提供者・企画者：本島玲子，保坂隆，北澤京子，石川隆，渡邊清高（メディアドクター研究会）

I. 看護図書館未来カフェ

企画者：志茂淳子（和歌山県立医科大学図書館三葛館）

12:15-13:00 ポスター待機時間

15:15-15:30 写真撮影

15:30-15:45 閉会式

ポスターセッション

第2日 12:15-13:00 は発表者が各自ポスター前に待機する時間です。参加者からの質問等に対し、発表内容の説明，参加者との意見交換・質疑応答を行う時間としてご利用ください。

- P-01 東邦大学における電子リソースの利用状況
大谷裕（東邦大学医学メディアセンター）
- P-02 電子ブックを導入して一順天堂大学図書館の，その後の事例から
城山泰彦（順天堂大学図書館）
- P-03 SFX リンクリゾルバの導入と今後の課題
渡邊望，相馬典子（国際医療福祉大学図書館）
- P-04 地域医療機関発行物へのニーズ：長崎大学附属図書館医学分館の ILL 統計より
松村悠子（長崎大学附属図書館）
- P-05 図書館来館者数の増加を目的としたポイントカードの導入
依光朋子，山崎裕司，萩野智美（高知リハビリテーション学院）
- P-06 自治体病院統合による図書室業務の現状と課題
望月雅子（袋井市立袋井市民病院図書室），坂本良子（掛川市立総合病院図書室）
- P-07 病院図書室司書の雇用についての実態調査
荒木亜紀子（川崎市立井田病院），山本悦子（横浜市総合リハビリテーションセンター）
- P-08 マインドマップと色分け法を用いた MeSH と情報整理の日常学習
小嶋智美（NPO 法人日本医学図書館協会（JMLA）正会員個人，ヘルスサイエンス情報専門員中級）
- P-09 患者家族による病気の理解を支援するための情報パッケージの提案
澤木恵（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科），岩澤まり子（筑波大学図書館情報メディア系）
- P-10 聴覚障がい者の情報保障に寄与する方法に関する一考察
遠山正朗，堀康記，太田千波，菊池祐圭，坂本光諒，妹尾昭太，曾山尚美，林真衣子，三木絵梨香（千葉工業大学）
- P-11 人物像から見た『明六雑誌』
松本佳奈（愛知淑徳大学大学院文学研究科文学専攻図書館情報学コース）